

いなかの ねずみと 町の ねずみ

ひょうじゅん
標準 ④

いなかの ねずみと 町の ねずみ (イソップのおはなし)

いなかの ねずみの ところへ、町の ねずみが
あそびに きました。

いなかの ねずみは、むぎや まめで
もてなしました。

「こんな ものしか ないのかい。町へ おいでよ。
ごちそうが たくさん あるよ。」

町の いえには、チーズや ケーキが ならんで
いました。

ところが、たべようと した とき、ねこが
とびこんで きました。二ひきは、あわてて あなに

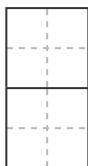
にげこみました。

いなかの ねずみは いいました。

「ぼくは いなかへ かえるよ。まめでも、あんしんして
たべられる ほうが いい。」

① いなかの ねずみは、むぎと なにで もてなしましたか。

むぎと



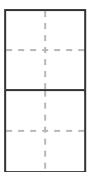
② 町の いえには、なにが ならんで いましたか。

ア むぎや まめ

イ チーズや ケーキ

ウ くだもの

③ たべようと した とき、なにが とびこんで きましたか。



④ いなかの ねずみが いなかへ かえる ことに したのは、
どうしてですか。

ア ごちそうが すきでは ないから。

イ あんしんして たべられる ほうが いいから。

ウ 町の ねずみと けんかしたから。